

ベンチトップイオナイザー

MODEL: 9100 取扱説明書

文書番号 TBJ-9042

DESCO ASIA

DESCO JAPAN 株式会社

〈はじめに〉

この度は、ベンチトップイオナイザーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本製品は、導電性ではない(絶縁性)物質や独立した導電体に集結した静電気を除電するイオナイザーです。ANSI/ESD STM3.1 および TR53 に則ってテストし、ANSI/ESD S20.20 に準拠しています。ファンスピードの高低関係なくプラスとマイナスのイオンレベルを常に均等に保ちます。



9100 ベンチトップイオナイザーには、以下の4つのモデルがあります。

品番	電圧	電源コード
9100-CP	220VAC	中国
9100-JP	110VAC	日本/アメリカ
9100-UK	220VAC	イギリス
9100-US	220VAC	タイ/アメリカ

ご注意

- (1)本書の内容を無断転載することは禁止されています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれ等お気づきの事がありましたら、ご連絡下さい。

<梱包内容>

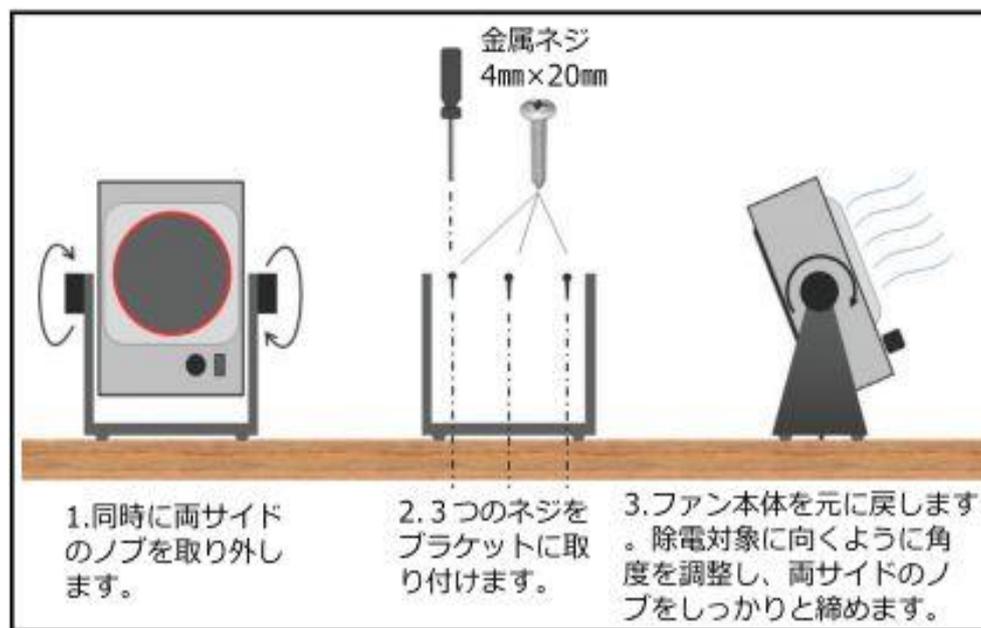
本体	1 個
電源コード(イオナイザーに付いている)	1 本
接地ワイヤー	1 本
校正証明書	1 部

<各部の名称>



<設置>

本製品は、付属のブラケット/スタンドを使って様々な場所に簡単に設置することができます。右記方法でブラケットを取り付けます。ネジを使ってテーブル上にブラケットをしっかり固定します。除電対象に向くように角度を調整し、両サイドのノブを締めて固定します。



この装置に組み込まれているシステムの安全性は組立者の責任となります。イオナイザーの性能は対象物までの距離とファンスピードによって変わります。距離が遠かったりファンスピードが低いと除電時間が長くなります。

警告：本製品は、爆発が起こりやすい場所や可燃性雰囲気での使用はできません。ファンモーターまたはエミッターポイントから出た火花により発火する可能性があります。

電気系

本体背面にある電源コードを使用します。安全に操作するために本体を接地してください。

接地

本製品は、本体の下にある接地端子と付属の接地ワイヤーを通じて接地接続しなければなりません。接地ワイヤーを既知の電気接地に接続してください。接地端子に正常に接続されていないと誤作動を起こす可能性があります。

<操作>

1. 電源コードをコンセントに差し込みます。電源コードの電圧がイオナイザーの作動範囲内であるかどうかを確認してください。電源コードの電圧が適切でないと、操作ができなくなったり本体にダメージを与える可能性があります。また、これによる故障は保証対象外となります。
2. 本体正面にある電源スイッチを ON にします。LED が点灯します。ダイヤルノブでファンスピードを調節します。時計回りに回すとファンスピードが上がります。

〈メンテナンス〉

エミッターポイントのメンテナンスをする時は、コンセントから電源コードを抜いてください。感電や怪我の危険性があるので濡れた手で電源プラグに触れないでください。ケースやエミッターポイントは必要に応じて時々通りのメンテナンスを行うだけです。エミッターポイント上に塵が溜まっていないかチェックしてください。指定範囲内にイオンバランスを保つために検査・調節が必要な場合もあります。

ケースの掃除

脱イオン水で湿らせて十分に絞った柔らかい布で拭きます。汚れが落ちない時は、イソプロピル・アルコール 70%と脱イオン水 30%を混ぜたものを使って柔らかい布で拭いてください。他の液体(洗剤)を使用するとケースのコーティングを剥がしてしまう可能性があります。余分な水分を取り除くために、柔らかい布やスポンジは十分に絞ってください。



エミッターポイントの掃除

本体の電源を切って、正面グリル側から綿棒で掃除します。エミッターポイントで怪我をしないように気を付けてください。両サイドのタブを押してグリルを外すこともできます(右写真)。グリルを取り外す際は、グリルと繋がっているケーブルを切断しないように気を付けてください。また、エミッターポイントは固定されていて交換ができないので、掃除中に曲げてしまわないようご注意ください。エミッターポイントとファンの掃除が終了後、グリルを元に戻してください。



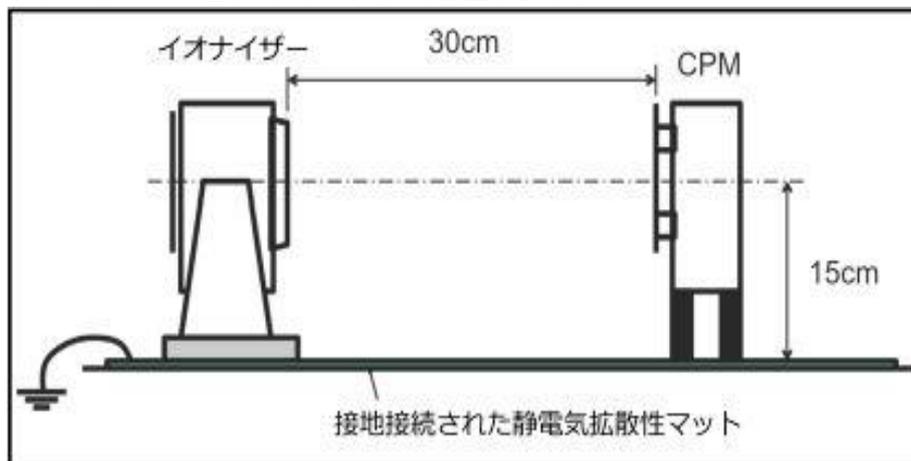
製品が正常に機能していないと感じる場合は、本体の電源コードを抜いてください。保証期間内であれば弊社の販売責任者もしくは販売代理店にお問い合わせください。

注意:お客様ご自身で交換可能な部品はございません。不当な部品交換による故障は保証対象外となります。

<校正>

オフセット電圧の校正

1. オフセット電圧を測定するために、校正されたチャージプレートモニター (CPM) もしくは電圧測定モードにセットできる対応の機器が必要となります。CPM に付属の取扱説明書を参考にして適切な操作および設定を行ってください。
2. イオナイザーと CPM をした図のように配置します。



3. イオナイザーと CPM の電源を入れます。起動するまで 5 分待ちます。
4. イオナイザーのファンスピードを最大にします。
5. CPM を電圧測定モードにセットし、25V などの小さい値を選択します。
6. コントロールパネルのバランス調節ネジをミニドライバーでゆっくり回します。回しながら CPM 測定値を観察します。CPM 値が 0 に限りなく近づいたところで回すのを止めます。
7. 続いて減衰時間およびオフセット電圧検証に移ります。

減衰時間およびオフセット電圧検証

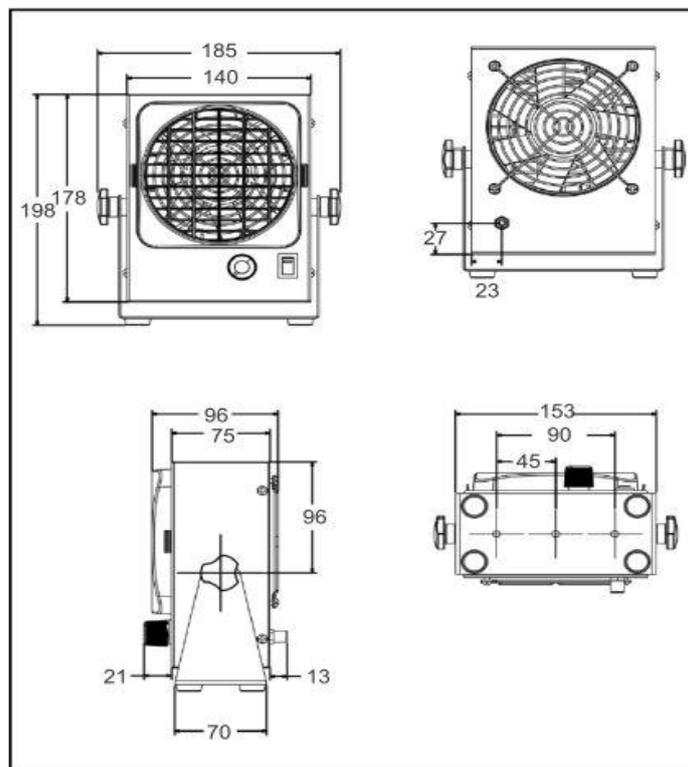
1. CPM を減衰/オフセットモードに設定します。CPM に付属の取扱説明書を参考にして適切な操作および設定を行ってください。
2. スタート時の電圧が $\pm 1\text{KV}$ 、ストップ時が $\pm 100\text{V}$ になるように CPM の減衰およびオフセット電圧を設定します。
3. CPM の減衰/オフセットのテスト手順を始めます。これには数秒かかります。
4. 減衰時間と CPM の画面に出るオフセット電圧を記録します。

<故障かな?と思ったら…>

問題	解決方法
ファンが回らない。	電源を切ります。AC プラグをコンセントから抜きます。弊社の販売担当者もしくは指定販売店に連絡し点検・修理の依頼をします。ご自身での修理は危険な上、保証対象外となってしまいますのでお避け下さい。
イオンバランスが不均等。イオンバランスを0Vに調節できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・設置場所の環境条件が記載の環境条件範囲内かどうか確認してください。 ・5 ページの「メンテナンス」を参考にエミッターポイントを掃除します。 ・上記の方法でも解決しない場合は、本体の電源を切ります。AC プラグをコンセントから抜きます。弊社の販売担当者もしくは指定販売店に連絡し点検・修理の依頼をします。ご自身での修理は危険な上、保証対象外となってしまいますのでお避け下さい。
他の問題例: <ul style="list-style-type: none"> ・ファンスピードが異様に遅い ・本体が異様に熱い ・焦げ臭い ・変な音がする 	電源を切ります。AC プラグをコンセントから抜きます。弊社の販売担当者もしくは指定販売店に連絡し点検・修理の依頼をします。ご自身での修理は危険な上、保証対象外となってしまいますのでお避け下さい。

<仕様>

内容	値	テスト方法
操作電圧および周波数	9100-JP: 100/120 VAC (50/60 Hz) その他のモデル: 220/240 VAC (50/60 Hz)	-
消費電力	12W	-
イオン放射	ステディ・ステイト DC	-
バランス電圧	±15V (25±5°C、RH: 45±10%)	-
減衰時間	2.0 秒以下	ANSI/ESD STM 3.1 高ファンスピード、ファンから 30 cmで計測
風速	152m/分	最大風速
使用環境	10~20°C、RH20~70%	-
作動音	ファンスピード高: 55dB ファンスピード低: 49dB	ファンから 100 cmで計測
オゾンレベル	0.1 ppm 未満	IEC 60335-2-65 Ed.2.1 32 項
寸法	198 mm × 185 mm × 103 mm (ノブと設置タブを含む)	-
重量	1.5 kg	
校正 & 認定	RoHS	-



<環境条件>

本製品は、下記環境条件下での使用においてテストされ、安全が確認されています。機能を保証するものではありません。

- ・ 屋内での使用のみ
- ・ 標高: 2000m 以下
- ・ 汚染度 2
- ・ 気温: 5°C ~ 40°C
- ・ 相対湿度: 50% (40°C) ~ 80% (31°C 以下)

<規制情報>

このシンボルマークは、「SJ/T 11364-2006 電子情報製品による汚染の管理」に則り、「電子情報製品の危険物質のための濃縮制限要件、SJ/T 11363-2006 中国の電子産業標準」に準拠し、製品や部品には最大許容濃度を超えたいかなる物質も含まれないことを示します。このマークにより、第三供給者から弊社に提供された情報の全体もしくは一部に基づいた知識と信念を表しています。製品資料の物質的な内容情報と一致しない場合は弊社全体の責任であり、下記保証に従って買手の唯一の法的救済を行います。



RoHS 2011/65/EU 適合というのは、改正 RoHS 指令 (2011/65/EU) の最大許容濃度 (MCVs) を超えたいかなる物質も製品もしくは部品に含まれないことを意味します。MCVs は同質素材の重量によって計算されます。これは、第三供給者から弊社に提供された情報の全体もしくは一部に基づいた知識と信念を表しています。

中国製

限定保証

弊社の保証規定に関する詳細は

<http://www.descoasia.co.jp/Limited-Warranty.aspx>

をご覧ください。

保証規定

本製品は、米国 DESCO Industries Inc. 社により製造され、日本国内の販売、保守、サービスは、DESCO JAPAN 株式会社が担当するものです。

本製品が万一故障した場合は、製品購入後一年以内については無料で修理調整を行います。ただし、以下の項目に該当する場合は、上記期間内でも保証の対象とはなりません。

- (1) 取扱説明書以外の誤操作、悪用、不注意によって生じた故障。
- (2) 当社以外で行われた修理、改造等による故障。
- (3) 火災、天災、地変等による故障。
- (4) 使用環境、メンテナンスの不備による故障。

保証の対象となるのは、本体で付属品、部品等の消耗は、保証の対象とはなりません。

- * 本保証は、上記保証規定により無料修理をお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- * 本保証内容は、日本国内においてのみ有効です。

機器に明らかなる不良がある場合については、下記内容を当社にご連絡下さい。

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1) 機種名または、品番 | 4) ご購入年月日 |
| 2) 製品シリアルナンバー | 5) 御社名、部署名、担当者名 |
| 3) 不良内容(できるだけ具体的に) | 6) 連絡先 |

以上の内容を検討致し返却取扱ナンバーを御社に連絡致します。製品を返却する場合は、返却取扱ナンバーを製品に添付してご返却下さい。

返却ナンバーが表示されていない場合は、保証の対象とならない場合があります。

DESCO ASIA

DESCO JAPAN 株式会社

〒289-1143

千葉県八街市八街い 193-12

Tel: 043-309-4470

<http://www.descoasia.co.jp/>